

■米国：バイデン副大統領が先進技術自動車導入計画の詳細について言及

バイデン副大統領は2011年1月26日、インディアナ州で電気自動車（EV）用や電力系統向けにリチウムイオン・バッテリーを製造する Ener1 社を訪問した。そして副大統領は、前日25日にオバマ大統領が一般教書演説で述べた、2015年までに電気自動車を100万台導入する目標を達成するための計画について同社従業員と会談を行った。その席で副大統領は、需要家がEV購入時に7,500ドルの税控除を受けることができる予算やEV関連技術の調査研究予算を早急に発表する意向を示しているほか、先進技術自動車の優先導入を計画するコミュニティ（最大で30ヶ所）に助成を行う考えを示している。